

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課長 細馬 康二	電話番号	0852-22-5311
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	資源回復・漁場生産力強化事業
目的	(1) 対象 漁業者等 (2) 意図 水産資源の資源管理、漁場環境の改善および水産多面的機能発揮にかかる取組みにより、資源の回復・漁場生産力の向上および水産業の再生・漁村の活性化を図る。
事業概要	(1) 水産多面的機能発揮対策事業 漁業者等が行う水産の多面的機能を図るため、以下の活動項目について支援。 ① 国民の生命・財産の保全： 国境監視、水域監視等 ② 地球環境保全： 藻場・干潟等の維持・保全、漂流漂着物処理等 (2) 水産多面的機能発揮対策支援事業 上記多面的機能の発揮に資する活動を推進するため、技術的サポート等を実施する市町村に補助金（定額）を交付する。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	活動組織数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値			0.00	22.00	23.00	
	式・定義	活動組織数	実績値	0.00	0.00	22.00	23.00		
			達成率		0.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,390	837
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成25年度に島根県海面地域協議会及び内水面等地域協議会を設立し、構成員は県内市町、漁業系統団体、有識者であり、その事務局として当該が関与している。
また、現在20の活動組織があり、これらの地元市町村は各地域協議会と連携し、活動組織が適正に事業実施を行うよう、適宜指導・助言を行っている。
このことにより、水産多面的機能発揮対策交付金を効果的に活用し、各地域の実情に応じた、水産業・漁村の多面的機能発揮のための活動が実施されている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

20の活動組織による、それぞれの取組みを円滑に実施するため、県及び関係市町村は当該事業を活用し、適宜指導・助言を行い、資源の回復・漁場生産力の向上および水産業の再生・漁村の活性化が図られている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
平成26年度の海面の活動組織においては、予定していた一部の事業が実施できず、多くの予算が未消化に終わった。
- ②困っている状況が発生している「原因」
多くの活動組織で漂流・漂着物の処理（海浜清掃）を計画していたが、事業開始時期の遅れや住民への周知不足による。
- ③原因を解消するための「課題」
活動組織は資金の余裕が無いため、早期から事業を実施する場合早めの概算払いが必要である。計画通り漂流・漂着物の処理（海浜清掃）を実施するため活動計画を早期に住民へ周知する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

国に早めの概算払い請求を行い、活動組織が早期に事業着手できるよう取り組む。
計画的な事業実施ができるよう活動組織への指導体制の強化を図っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）